

茨城県農業経営士協会鹿行支部鉾田分会と鉾田普及センター職員との意見交換会を開催

令和8年7月8日に、茨城県農業経営士協会鉾田分会員9名と鉾田地域農業改良普及センター部門長及び地域普及第一課職員計7名で意見交換会を行いました。

テーマは「高温による農作物への影響や病虫害の被害状況及びその対策等について」として、はじめに、出席した各農業経営士からメロンやイチゴ、カンショなどの経営品目における高温の影響や対策を伺いました。その後、普及センターから、現地巡回で把握した農作物の状況のほか、現場で実証試験中の遮熱ネットやBS資材などの高温対策技術や、近年問題となっているメロンのCABYVなど微小害虫が媒介するウイルス病や品目横断的な媒介虫防除の必要性などについて、情報提供を行いました。

意見交換では、農業経営士自身が取り組む防虫ネットや遮熱ネット、天敵導入の効果の有無や効果的に使用する方法などのアドバイスを出し合いました。

ほかにも「施設野菜に限らず、露地野菜でも微小害虫が発生しているので、地域全体への注意喚起が必要」、「ドローン散布に関する情報をチラシに盛り込んでみては」などの貴重な意見があり、大変有意義な意見交換会となりました。

普及センターでは引き続き、鉾田分会の農業経営士と連携し、地域農業の課題解決に向けた提案や、担い手の確保・育成のための支援をしていきます。

鉾田地域農業改良普及センター（担い手）